

Vol.7

まちづくりニュース

都市計画課では、「地域と考えるまちづくり」を進めています。そこで、地域と考え、協働して取り組んだ活動について紹介します。



～“地域と考えるまちづくり”～

谷塚駅西口地区 第2回やつか納涼フェスタ

谷塚駅西口地区では、駅前広場等の整備を含めた谷塚駅西口地区のまちづくりの軸となる基本計画策定を進めています。計画の策定にあたっては、様々な人が利用・活用しやすくなるような整備を目指しており、将来の活用をイメージできるよう、まちづくり用地の社会実験等を通じて、地域と協働でイベントを開催しています。今年はまちづくり用地にて、お祭りやマルシェ等多くのイベントを開催しました。8月に開催した「第2回やつか納涼フェスタ」では、2日間で約9,500人が来場し、大盛況となりました！

令和7年度も引き続き、地域の方と協働でイベントを行いながら活気があふれ、にぎわいのある谷塚駅西口地区のまちづくりを考えていきます。

インタビュー

谷塚で活動している友隣会に所属

岸 大輔 氏



友隣会は、谷塚を中心に活動している市民団体です。2019年に発足し約40名が所属しています。友隣会では、「まちづくりの推進」のため、まちに花を植えたり、商店街の方々と一緒に盆踊りを開催したりしました。

私は、大学の講義をきっかけにまちづくりに興味を持ち、友隣会に参加しました。活動を通じて、思ったより、地域と行政が密に繋がっていることを知り、協働の重要性を感じました。一方で、実際に暮らしている市民の声をどれだけ拾えているのか？とも思いました。

今後は、様々な方の意見を聞き、より良い谷塚駅西口地区を目指し、活動していきたいと考えています。

まちづくり用地とは？

用地の概要 面積 約2,000㎡ 目的 将来の駅前広場整備の用地

谷塚駅西口の将来整備に向け草加市にて先行買収をした用地です。これまで低未利用地（シェアサイクル、休憩スペースなど）の状態であった当該用地ですが、令和4年度より地元住民が中心となった様々なイベントを開催する等、地域の賑わい創出に繋がる利活用が生まれています。

今後も、地域の人の交流の拠点となる駅前広場の整備を目指します。



整備前



整備後のイメージ

Pick up! 公園・エキチか・地域で開催！

草加川柳地区

そうか公園夏まつりマルシェ



草加川柳地区では、そうか公園や川柳文化センターを中心に「多世代の居場所づくり・にぎわいづくり」を実施しています。9月には、「そうか公園夏まつりマルシェ」を開催し、物品販売のほか、子どもが遊べるワークショップ等を行いました。「舟流し・紙飛行機飛ばしワークショップ」は、地域の方が主体となって企画したもので、当日は公園内の水辺や広場で、子どもたちがのびのび遊ぶ光景を見ることができました。

公園や文化センターを中心に、「こんなことをやってみたい！」を形にした居場所づくりやにぎわいづくりを行っていきます。



獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域

WELL FES(ウェルフェス)

獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域では、5月9日に、多世代が繋がり、学び、誰もが活き活きと暮らせる未来を育む「WELL BIND(ウェルバインド)」をコンセプトに、草加市、獨協大学、UR都市機構、東武鉄道(株)、トヨタホーム(株)の5者により連携協定を締結しました。5者による地域イベント「WELL FES(ウェルフェス)」を2回開催し、12月には子どもたちがワークショップでランタンを作り、夜の公園を彩りました。

地域の事業者や住民参加も多いことから、一緒に地域の将来像を考えながら、魅力あるエリアを創っていきます。



新田西部地区

サツマイモ掘りイベント

新田西部地区では、10月に、地域の方の農地を活用した「サツマイモ掘りイベント」を開催しました。イベントは新栄町会が主体となって企画し、植え付け等の準備を進めました。草加市は、町会での情報共有手段が課題となっていたことから、デジタルツール(SNS)を活用した周知の提案を行い、支援しました。当日は約200人が参加し、大きなサツマイモが掘れる等、子どもたちも大喜びでした。

デジタル化等、課題を共有するため、地域活動に加わり、地域の声を大切にしたコミュニティの活性化や多世代交流を図っていきます。



～今後も地域の方との協働を通じて
地域と考えるまちづくりを進めていきます～

問合せ先

都市整備部 都市計画課

☎048-922-1790 ☎048-922-3145

Mail : toshiikeikaku@city.soka.saitama.jp